

## 県政レポート

新型コロナウイルス感染症は、本年2月には新規感染者数も減少し第6波も一旦は落ち着きをみせたものの、3月下旬以降再び上昇に転じ感染の第7波に入る等、収束は未だ見通せない状況が続いています。国は、4回目のワクチン接種を60歳以上及び18歳以上で基礎疾患や重症化リスクの高い方を対象に行う方針を示し、静岡県でも市町と連携し接種準備や大規模接種会場などの体制整備を進めています。また、国は屋外でのマスク着用について人との距離が保てなくても会話を行わない等の一定の条件下ではマスク不要との見解を示しました。これから夏場に向け、熱中症対策として屋外でのマスク着用に関しては柔軟な対応を行って頂きたいと思っております。しかしながら、会話時の不織布マスクの着用や換気の徹底など基本的な感染防止対策は引き続きお願い致します。

本年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵略は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かすもので断じて容認できません。そのような中、静岡県内にはウクライナから避難して来られた方がいて、県はそうした方々に対し総合的な相談窓口を設置し住まいや生活等の支援を

行っています。また、ロシアによるウクライナへの侵略により原油価格の高騰や食料品・光熱費・日用品等の物価高騰を引き起こし、日本経済や私たちの日常生活に大きな影響をもたらしています。

静岡県としては、新型コロナウイルス感染症対策及び原油価格・物価高騰等の現状に鑑み、5月臨時議会において必要となる予算を確保しました。今回の県政報告では追加補正予算の内容と私の活動実績等について報告致します。



令和4年度  
5月補正予算 **25億3,900万円**

補正後の一般会計予算  
**1兆3,677億5,800万円**

### ● 国の「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に伴う必要経費

低所得者のひとり親世帯への  
特別給付金  
児童1人当たり5万円支給



生活福祉資金の受付期間の延長  
令和4年  
6月末まで→8月末まで

生活困窮者に向けた  
自立相談支援機関の  
体制強化

### ● 新型コロナウイルス感染症対策に要する経費

高齢者施設集中検査（新規）  
※感染者の早期発見のための検査キットの配布  
職員に対する定期的な検査/体調不良時の随時検査

早期職場復帰検査（新規）  
※濃厚接触者となった職員の早期復帰のための検査  
検査キットの配布/自院での検査費用の助成

自宅療養者療養体制整備（新規）  
相談窓口の設置

ワクチン接種の推進  
小児接種体制確保（新規）/  
第4回目大規模接種会場の設置・運営  
個別接種の接種回数に応じた加算金の支給等



## 活動報告

### 道路冠水検知システムの実証試験がスタートしました。

県道山中湖小山線（小山町湯船地区）が、大雨等により冠水しやすく通行車両が危険で対策を講じて欲しいとの相談を地元要望で受けた為、道路管理者である沼津土木事務所御殿場支所と小山町を交え協議を行った結果、同事務所は冠水状況を早期に把握するシステムを民間企業と共同開発し実証試験を昨年度からスタートさせました。

冠水センサーを道路に設置し、事前に定めた水位に達すると離れた場所の子機に情報が送信され、警報灯が点灯し通行車両に冠水の危険性を知らせ、同時に道路管理者にメールが届き初動対応の迅速化が図られる仕組みです。昨年は18回冠水センサーが作動し9回通行止めを実施し、迂回ルートへの迅速な誘導により通行の安全性が図られました。



大雨等による冠水の様子



冠水センサー



初動対応

# 実績

### 北郷南(小山町下小林)西部 圃場整備後の補完工事を実施

圃場整備後、用排水路の溢水や農地の暗渠排水に不具合が生じたため東部農林事務所と協議し追加の補完工事を実施しました。

排水管の敷設替え

用排水路の嵩上げ

用排水路の付替え



溢水箇所



嵩上げ箇所



施工前



施工後

暗渠排水の布設替え

### 小山町北郷地区上野 治山堰堤 の破損修復工事を実施

昨年大雨等で堰堤の一部が破損し、大規模災害につながる恐れがあるため、県東部農林事務所と協議し、暫定修復工事を行いました。なお、令和4年度の当初予算に関連工事費が計上されています。



修復前



修復後



### 県立御殿場高校周辺の道路拡幅改良工事に向けて

地元地区民、御殿場市、高校関係者と協議を行いました。御殿場高校周辺道路は、交通量が多い割に歩道が未整備で歩行者の安全が確保出来ず、また道路も狭く車のすれ違いにも支障が生じるなど、地元区では道路拡幅等が長年の課題でした。御殿場市や御殿場高校を交え道路環境の改善を進めます。



狭い道路の拡幅



歩道未整備



工事概要の説明会



関係者による現場立合い

### 県医療審議会 厚生委員会 副委員長として参加

県民の誰もが安全で質の高い医療を享受できる環境を整備するため、特に新型コロナウイルス感染症対策を始め、医師・看護師確保対策や6疾病5事業の取組み、また在宅医療の体制整備等の審議を行いました。審議結果は第8次静岡県保健医療計画に反映されます。



# 報告

